

試験焼却、早期実施の意向

県議 会
常任委・分科会 がれき受け入れで県

県議会は四日、戦略企画雇用経済、環境生活農林水産、教育警察の各常任委と予算決算常任委の各分科会を開いた。県当局は、岩手県久慈市からの震災がれきの受け入れで、焼却施設からの排気ガスと焼却灰について放射能濃度を測定する試験焼却を早期に実施したいとし、「数字で示さないと説明はなかなか難しい。結果でもって判断していただきたい」と述べた。伊賀南部環境衛生組合と三重中央開発で実施する意向を示した。また、いじめで大津市立中学二年の男子生徒が自殺した問題を受け、文科省の依頼で県内公立学校を対象に実施した、いじめ問題をめぐる児童生徒の実態把握緊急調査の速報値が示された。

【2面、14面に関連】

放射能濃度、数字で判断 最終処分場 確保に努力

〈環境生活農林水産 二村 林聡委員長、九人〉
環境生活部関係の常任委員会と予算決算常任委員分科会を開き、本年度一般会計補正予算案を全会一致で可決すべきとした。所管事項の調査で、県当局は、岩手県久慈市からの震災がれきの受け入れをめぐる住民説明について、「焼却施設からの排気ガスと焼却灰について放射能濃度を測定し、数字で示さないとなかなか難しい」として、試験焼却を早期に実施したいとした。

【震災がれき】伊賀南部環境衛生組合や多気町などの焼却施設や、焼却灰の処分

分に協力する伊賀市の三重中央開発などの施設周辺住民を対象とした説明会を開くとともに、焼却灰の処分が円滑に進むように最終処分の確保に努める。委員からは住民説明の見直しについて質問があり、岡本道一は「試験焼却をしてみて、煙

震災がれきの広域処理などを協議した環境生活農林水産常任委員会 県議会議事堂で



突からの排気ガスと焼却灰について放射能濃度を測定し、データを基に数字で示さないとなかなか難しい。結果でもって判断していただきたい」と答えた。試験焼却の実施は、「伊賀南部環境衛生組合と三重中央開発と同じタイミングがい」と述べ、早期に実施したいとした。